

国土交通省東日本大震災復興対策本部会合（第5回） 議事概要

1. 日 時 平成23年11月28日（月）15：45～16：30
2. 場 所 中央合同庁舎3号館（国土交通省）4階幹部会議室
3. 出席者 前田大臣（本部長）、副大臣、大臣政務官
事務次官、技監、国土交通審議官、官房長、関係局長等
4. 議 題 国土交通省における東日本大震災の復興施策の取組状況について
等

【概 要】

- 冒頭、前田大臣より、第三次補正予算が成立し予算関連法案も目途がたったことを踏まえ、着実かつスピード感を持って施策を実行して欲しい旨、また、「持続可能で活力ある国土・地域づくり」の推進により、日本再生のモデルとなるような復興を目指して取り組んで欲しい旨、挨拶があった。
- 続いて、事務次官より、復興事業計画及び工程表について、第三次補正予算を踏まえて内容を更新し、本部に提出することについて説明があった。
- その後、事業計画及び工程表の更新内容について、関係局長から説明があった。
 - ① 海岸対策：水管理・国土保全局
 - ② 河川対策：水管理・国土保全局
 - ③ 下水道等：水管理・国土保全局
 - ④ 交通網
 - 1) 道路：道路局
 - 2) 鉄道：鉄道局
 - 3) 空港：航空局
 - 4) 港湾：港湾局
 - ⑤ 復興住宅：住宅局
 - ⑥ 復興まちづくり：都市局
 - ⑦ 土砂災害対策：水管理・国土保全局

⑧ 地盤沈下・液状化対策：水管理・国土保全局

- 国土政策局より、東北圏の現状について報告があった。
- 都市局より、復興計画の検討の進捗状況について報告があった。
- 総合政策局より、市町村の執行体制支援の検討状況について報告があった。
- 最後に、事務次官より、復興事業の円滑な実施には補正予算の迅速・円滑な執行や市町村の執行体制支援が重要であり、万全を期すこと、また、政府の「日本再生のための基本戦略」の策定に向け、国土交通省の総合力を活かし、他省庁や民間とも連携しながら、被災地における先進的なモデルプロジェクトの具体化を進めていくこと、について指示があった。